



政策研究会  
中川 忠則  
議員

### ▼島原市公金事故再発防止 対策委員会での現金取り扱 いの現状と防止対策

- Q 各課での市単独補助金の取扱状況は。
- A 担当課が事務局を受け持っているケースもあるが、事故再発防止対策として、口座振り込みを推進し、通帳と公印の分離保管の徹底を図るように指示している。
- Q 学校給食費、補助教材費の一年間の額は幾らか。また、集めた金の取り扱いは。
- A 給食費は、年間で約二億千七百万円であり、学校長の通帳に振り込んでいる。補助教材費は、小学校が千万円超で担当が集金して通帳管理、中学校が約千万円で購買部担当者が通帳管理をしている。
- Q 自治法第二百十条と給食費との関係。
- A 学校給食法には材料費は保護者負担と明示されているが、取り扱いについては、弾力的な運用の通達等も出ているので現在のような取り扱いをしている。
- Q 市補助金に対するの監査はできるのか。
- A 必要があると認めるときは監査が可能なので、今後検討する。
- Q 公金とはどういうものか。
- A 歳入歳出の総額のことである。

- Q 給食業務は公務の範囲内か。
- A 市が設置している小・中学校の給食業務については、公務ととらえている。
- Q 大会実行委員会の法的性格は。
- A 法人格のない任意団体である。
- Q 職員の意思表示と意識改革について。
- A 新任職員の研修時にも指導しており、今後も日常業務において課長から法、条例の遵守を徹底させたい。

### ▼島原城堀内の菖蒲園について

- Q 今後の維持管理はどうするのか。
- A 由緒ある菖蒲でもあるので、ことし一年をかけていろいろ検討する。

### ▼子育て支援事業

- Q 保育園、幼稚園の保育料の無料化。
- A 現状での軽減策は、県下で一番進んでいると認識しているが、経常的に必要な経費なので研究してみたい。

### ▼落ち葉や雑草での堆肥 づくりについて

- Q 市民清掃日に搬出される雑草や木の葉を利用しての堆肥づくりはできないか。
- A 資源の再利用について、積極的に取り組みたい。



新緑クラブ  
酒井美代子  
議員

### ▼人づくりについて

- Q 職員の人材育成についての方針あるいは具体策は考えているのか。
- A 人づくりについては、資質向上と意識改革が重要と考えており、第四次行政改革大綱の中で職員の意識改革、人材育成の取り組みの項目を設けている。この中では、自治大学を初めとする各種研修や法令研修、コンプライアンス研修を掲げており、これらのさらなる充実に努めていきたい。
- Q 人材育成を目的とした明確な指針となる基本方針などの策定は考えているのか。
- A 制度的なものを設け、中・長期的視野に立った人材育成は必要で、基本的な能力研修等に加え、市民満足度向上を目指した体系的な研修の充実や政策大学院研修などへの派遣も検討すべきと思う。また、意欲を持たせる意味では、自己申告による意識改革も取り入れる必要があり、中・長期的な人材育成、言うならば島原市人材育成プランのようなものに取り組んでいきたいと考えている。

- Q 職員のスキルアップや能力開発だけではなく、評価を含む資質向上のためのルールづくりや施策に対する具体的な取り組みはあるのか。
- A 十四年度から創造的な新しい施策の推進や人づくり、職場風土づくり、職員の政策形成能力向上などを目的とした、職員提案制度の要綱を定め実施しており、優秀な提案をした職員に対しては、全職員の前で表彰を行った。また、職員の意欲を尊重した人事配置の希望聞き取りや業務能力率の向上を目的とした自己申告制度を実施している。
- Q 自由闊達な議論ができ、職員の士気を高め、それぞれの能力を十分に発揮できるような環境づくりが不可欠だが、そういった意味での人材育成型人事評価制度を導入する予定はないのか。
- A 主任以上の職員を対象に、試行として昨年実施しており、今年二回目を行うことにしている。評価制度自体は、国の制度を参考にしながら素案を作成しているが、一定期間内における目標設定を行い、その到達度を自己評価するとともに、課長評価を行うことで客観性を持たせたいと考えている。

【その他の質問項目】  
◇施政方針について